

領 収 書 等 添 付 用 紙	議員名	田中 寛
調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		
項目ごとに領収書添付 ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。 ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。 ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。 ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。		

政務活動費領収書綴

支払い日 2021年 4 月 1 日

支払い先

金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 4 月 1 日

印

政務活動費領収書綴

支払い日

2021年 5 月 6 日

支払い先



金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 5 月 6 日



印



政務活動費領収書綴

支払い日

2021年 6 月 1 日

支払い先



金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 6 月 1 日



印



政務活動費領収書綴

支払い日

2021年 7 月 1 日

支払い先



金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 7 月 1 日



印



政務活動費領収書綴

支払い日 2021年 8 月 2 日

支払い先

金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 8 月 2 日

印

政務活動費領収書綴

支払い日

2021年 9 月 1 日

支払い先



金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 9 月 1 日



印



政務活動費領収書綴

支払い日 2021年 10 月 1 日

支払い先

金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 10 月 1 日

印

政務活動費領収書綴

支払い日 2021年 11月 1日

支払い先

金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 11月 1日

印

政務活動費領収書綴

支払い日 2021年 12 月 1 日

支払い先

金額

25,000

円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2021年 12 月 1 日

印

政務活動費領収書綴

支払い日 2022年 1 月 11 日

支払い先

金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2022年 1 月 11 日

印

政務活動費領収書綴

支払い日

2022年 2 月 1 日

支払い先



金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2022年 2 月 1 日



印



政務活動費領収書綴

支払い日

2022年 3 月 1 日

支払い先



金額

25,000 円也

支出項目

調査研究費

☐ 資料印刷費

☒ 調査委託費

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ その他

研修費

☐ 講師謝金

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

広報費

☐ 印刷費

☐ 会場費

☐ 交通費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

広聴費

☐ 資料印刷費

☐ 会場費

☐ 茶菓代

☐ 文書通信費

☐ 交通費

☐ その他

会議費

☐ 会場費

☐ 資料印刷費

☐ 交通費

☐ 宿泊費

☐ 文書通信費

☐ 参加費

☐ その他

資料作成費

☐ 印刷製本代

☐ 翻訳料

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

資料購入費

☐ 書籍購入費

☐ 新聞雑誌購読料

☐ 有料データベース利用料

☐ その他

人件費

☐ 給料

☐ 手当

☐ 賃金

☐ その他

事務所費

☐ 賃貸料

☐ 維持管理費

☐ 備品

☐ 文書通信費

☐ 事務機購入

☐ リース代

☐ その他

領収書貼布欄

2022年 3 月 1 日



印



業務委託契約書

田中覚（以下「甲」という）と[REDACTED]（以下「乙」という）は、業務委託契約（以下「本契約」という）を次のとおり締結する。

第1条（委託業務）

甲は乙に対し、以下の業務（以下「本業務」という）を委託し、乙はこれを受託する。

- （1）政治経済記事の収集および加工
- （2）行政情報の収集および新聞スクラップ
- （3）その他、前項に関わる業務

第2条（委託料）

1. 甲は乙に対し、本業務の対価として、月額金 25,000 円を支払う。
2. 甲は、前項に定める委託料の当月分を当月の月初の平日に、乙の指定する方法により支払う。

第3条（契約期間・契約更新）

1. 契約期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までとする。
2. 契約期間満了日の1ヶ月前までに、甲乙いずれからも何ら申し出のないときは、本契約と同一の条件でさらに一年間更新するものとし、以後同様とする。

第4条（再委託の制限）

乙は、本業務を第三者に再委託してはならない。但し、甲が承諾したときは、その限りでない。

第5条（秘密保持）

乙は、本契約期間中または期間満了後を問わず、本業務に関して知り得た秘密を第三者に漏洩してはならず、また本業務の遂行以外の目的に使用してはならない。

第6条（解除）

甲または乙が次の各号のいずれかに該当したときは、その相手方は、催告その他の手続を要することなく、直ちに本契約を解除することができる。

- （1）破産、特別清算、民事再生手続もしくは会社更生手続開始の申立を受け、または自らこれらを申し立てたとき。
- （2）第三者より差押、仮差押、仮処分、強制執行もしくは競売申立てまたは公租公課滞納処分を受けたとき。

- (3) 監督官庁より営業の取消、停止等の処分を受けたとき。
- (4) 解散、減資、営業の全部または重要な一部の譲渡等の決議をしたとき。
- (5) 自ら振出し、または引き受けた手形、小切手が不渡り処分になる等、支払いが不能な状態になったとき。
- (6) 相手方への連絡が1ヶ月以上とることができなくなったとき。
- (7) 相手方が本契約の各条項に違反したとき。
- (8) 相手方に重大な過失または背信行為があったとき。
- (9) その他本契約を継続しがたい重大な事由が発生したとき。



第7条 (契約終了後の処理)

本契約終了後、乙は、甲の指示に基づき、直ちに本業務に関する物品を返還または破棄するものとする。

第8条 (裁判管轄)

本契約に関する一切の争訟は、上野地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とする。

第9条 (協議)

本契約に定めのない事項、または本契約の解釈等に疑義が生じたときは、甲乙は誠意を持って協議し、円満に解決を図るものとする。

附則

本契約締結の証として、本書2通を作成し、甲乙それぞれ各1通を保管する。

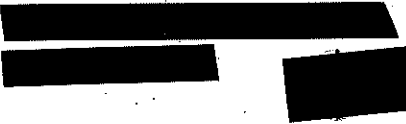


令和3年4月1日

甲 住所 三重県伊賀市緑ヶ丘南町4036番地
伊賀市議会議員 田中寛



乙 住所



文化芸術子が触れる機会を

伊賀市審議会が5年計画答申

伊賀市文化振興審議会は二十六日、市の文化芸術に關して二〇二五年度までの五年間の計画をまとめた「市文化振興プラン」を岡本栄市長に答申した。具体的な目標値を示し、障害者や子どもが文化芸術に触れる機会を増やすよう求めた。

審議会は帝塚山大名普教授の中川幾郎会長(右)や市文化都市協合理事長の中村忠明副会長(左)ら十二人。

子どもの文化芸術への参加については、文化施設を訪れた経験のある小中学生を二〇年の四割から六割に増やすため、乳児期から文化芸術に関わることのできる催しを企画する。

このほか▽文化芸術をすべての市民に▽心の豊かさを目指して▽社会参加のきっかけづくり▽都市の文化的な顔づくりといった十四の施策の方向を提示。その実現に向けて「子ども未

岡本市長(左)に答申書を手渡す中川会長(中)と中村副会長(右)伊賀市役所で



来「社会がつながる」「文化まちづくり」を目的にしたプロジェクトの実行を挙げた。

(新居真由香)

2021. 4. 29

中日

伊加版

市張名

(黃田洋河)



美濃地区に拡充を図る下水
水道整備に伴い、既存の下水
水処理施設も二系統から三
系統に増設する。二十億円
をかける増設部分は鉄筋コン
クリート造地下二階、地上
一階の延べ千九百平方メートル
(イメージ図の青色部分)。
一六、三年三月までに完成させ、
汚泥と分離して浄化処理した水をシャックリ川に
排出する。

支所廃止案の撤回 求める請願を採択

伊賀市議会

伊賀市議会六月定例会は
最終日の二十八日、旧町村



支所廃止案の撤回を求め
る請願を採択した市議会
定例会。伊賀市役所で

部の支所廃止案の撤回を求
める請願を採択した。市は
廃止する時期や内容を見直
し、七月中にも代替案をま
とめる方針。

二〇二二年度末で全ての
支所を廃止し、より広域を
カバーする二カ所の施設に
再編するとした市の当初案
に対し、旧上野市、旧青山
町地域を除く十一の住民自
治協議会が請願を提出して
いた。

この日の本会議で、総務
常任委員会から閉会中の継
続審査の申し出があつた
が、賛成少数で否決。委員
会で再び審議し、「採択す
べきだ」とし、本会議でも
賛成十九人、反対一人、退
席一人で採択した。

このほか、二二年度一般
会計補正予算案など十五議
案を可決。市出身の作家、
故岸宏子さんの居宅を文学
記念館に整備する事業を巡
っては「詳細な説明がない
まま予算が計上された」と
して、建物の耐震診断費用
三百二十三万円の執行を凍
結する付帯決議を付けた。
付帯決議に法的拘束力はない。

一般質問をした議員の発
言の取り扱いに関し、市川
岳人議長への問責決議案が
提出され、賛成少数で否決
された。
(河野晴気)

2021. 6. 29

中日

伊賀市の成人式対象18歳に反対

中高生ら市議と論議

伊賀市が二〇二三年から成人式の対象を十八歳に變更することについて、市議会内で、伊賀市が二〇二三年から成人式の対象を十八歳に變更することについて、市議会内で、



中高生ら(手前)の意見に耳を傾ける市議たち。伊賀市上野丸之内で。

夜、ハイトピア伊賀(上野丸之内)で、市議と意見交換した。従来の二十歳での成人式を望む市民団体「伊賀市の未来を考える勉強会」が呼び掛け、市議会の教育民生常任委員七人が出席した。

市は民法改正で二三年四月から成人年齢が十八歳に引き下げられるのに合わせて、二三年の一、三、五月にそれぞれ二十、十九、十八歳を対象に、二四年以降は毎年五月四日に十八歳を対象に式を実施することにした。

席上、中学二年から高校三年の五人が「おばあちゃんに振袖を買ってもらったのに五月だと暑くて着られない」「お酒が飲めるからではなく、二十歳という節目に同級生と会いたい」などと訴えた。

高校三年の女子生徒は「全国的にというのなら仕方ないが、伊賀市だけ十八歳で成人式というのは納得できない」と主張し、

「受験や大学入学に加え、振袖やスーツにもたくさんのお金がかかり、親に一気に負担がかかってしまうのがすごく気になっていて」と胸中を明かした。

出席議員の一人は「みなさんの声は真摯に受け止めて、委員会として意見を交わしながらまとめていきたい」と話した。

(新居真由香)

伊賀市 個人住民税で課税ミス 30人分、計110万円少なく

伊賀市は九日、二〇二一年度の個人住民税で課税ミスがあったと発表した。公的年金の支払い報告書を課税システムに取り込む際に誤り、三十人分、計百十萬三千六百円を少なく課税していた。

市課税課によると、六月下旬に市民からの問い合わせで発覚した。地方税ポータルシステムで一月四日に提出された百二十五人分の報告書を取り込めていなかった。課税額や年金収入に

(河野晴気)

コミュバス利用者数 過去最低

名張市、20年度

名張市は、〇二〇年度のコミュニティバス利用者数が、現在の路線数になった二年度以降で過去最低だったと公表した。コロナ禍による外出控えの影響の大きさが浮き彫りになった。

同市上八町の名張市民センターで開かれた市地域公共交通会議で報告した。市内で運行するコミュニティバスは、市街地を循環する「ナツキ号」と、バス路線がない地域で運行する地域コミュニティバス五路線がある。ナツキ号の

コロナ禍の外出控え直撃

利用者は一九年度から約16%減り、三万六千九百八十八人に、五路線の利用者は約30%減の一万一千六百二十四人となった。

ただ、障害者など運賃免除の利用者は、いずれの路線でも微減か、増加した。会議の座長を務める名張大埋



市街地を循環するナツキ号＝近鉄名張駅西口で



地域公共交通のあり方について議論した会
議。名張市上八町の市民センターで

工学部の松本幸正教授は「不要不急ではない外出に使えない生活できない人がいる」と分る。インフラを守る意識を醸成させることが大切だ」と強調した。

会議は今後、コミュニティバスを含めた公共交通手段の維持、確保を目指す。地域公共交通計画を来年度中に策定する。本年度は市民やバス利用者向けのアンケートを実施して利用実態や公共交通への意識を把握。残り一回の会議で計画の案を取りまとめる予定。

伊賀市は、二十五日、三億七千四百五十七万五千円の一般会計補正予算案など三十三議案を発表した。九月一日開会の市議会定例会に提出する。

補正予算案では、上野南部地区三小の校区再編で二〇二三年からの統合先となる依那古小の改修設計費に九百四十九万八千円。今年七月の落雷で被害を受けた上野西小の時計や放送設備の復旧工事などとして二千万円を盛り込んだ。来年度からの青山支所複合化に伴い、支所内の文化財歴史資料保管庫と収蔵庫を旧長田小学校舎に移転するため、七百六十四万三千円。老朽化が進む上野公園内の戦没者慰霊塔の耐久

伊賀市が補正予算案を発表

伊賀市は、二十五日、三億七千四百五十七万五千円の一般会計補正予算案など三十三議案を発表した。九月一日開会の市議会定例会に提出する。

補正予算案では、上野南部地区三小の校区再編で二〇二三年からの統合先となる依那古小の改修設計費に九百四十九万八千円。今年七月の落雷で被害を受けた上野西小の時計や放送設備の復旧工事などとして二千万円を盛り込んだ。来年度からの青山支所複合化に伴い、支所内の文化財歴史資料保管庫と収蔵庫を旧長田小学校舎に移転するため、七百六十四万三千円。老朽化が進む上野公園内の戦没者慰霊塔の耐久

コロナ24事業に5100万円

伊賀市は、二十五日、三億七千四百五十七万五千円の一般会計補正予算案など三十三議案を発表した。九月一日開会の市議会定例会に提出する。

補正予算案では、上野南部地区三小の校区再編で二〇二三年からの統合先となる依那古小の改修設計費に九百四十九万八千円。今年七月の落雷で被害を受けた上野西小の時計や放送設備の復旧工事などとして二千万円を盛り込んだ。来年度からの青山支所複合化に伴い、支所内の文化財歴史資料保管庫と収蔵庫を旧長田小学校舎に移転するため、七百六十四万三千円。老朽化が進む上野公園内の戦没者慰霊塔の耐久

外来患者が過去最少
医療収支の損失拡大
名張市立病院、20年度
名張市は、二十四日、二〇二〇年度の市立病院の外来患者数が新型コロナウィルスの影響で減り、一九七七年の開院以来過去最低だったと明らかにした。

二〇年度の外来患者数は六万七千四百一人で前年度から八千四百三十五人減。入院患者数は四万九千八百九十四人で、前年度比で六千四百四十一人減だった。患者数の減少により、医療収支も二億三千四百四十四万円の減収となった。医療費用も減ったものの、医療収支の損失は八億一千九百六十六万四千九百六十六円。これを計上した二〇年度病院事業会計決算は、三十一日開会の市議会九月定例会に提出される。

(岡屋京佑)



昨年の創業スクールの様子＝伊賀市ゆめが丘のゆめテクノ伊賀で(同市商工会提供)

創業スクールの
受講者を募集
伊賀市商工会
伊賀市商工会は九月に開講する「創業スクール2021」の受講者を募集している。九月八日まで、創業を考えている人や創業して間もない人が対象。三十三総研副社長の伊藤公昭さんらを講師に招き、マーケティングや会計の基礎知識、ビジネスプランの作成などを学ぶ。

日程は九月十八、二十五日と十月二、九、十六日の五日間で、各日午前九時半～午後四時半。ゆめテクノ伊賀(ゆめが丘)で実施する。新型コロナウイルスの感染状況によっては、一部オンラインでの開催も検討する。

商工会の担当者は「市内で起業していただける方に、ぜひ参加していただきたい」と話している。

受講料五千円。定員二十名。

創業スクールの
受講者を募集
伊賀市商工会
伊賀市商工会は九月に開講する「創業スクール2021」の受講者を募集している。九月八日まで、創業を考えている人や創業して間もない人が対象。三十三総研副社長の伊藤公昭さんらを講師に招き、マーケティングや会計の基礎知識、ビジネスプランの作成などを学ぶ。

日程は九月十八、二十五日と十月二、九、十六日の五日間で、各日午前九時半～午後四時半。ゆめテクノ伊賀(ゆめが丘)で実施する。新型コロナウイルスの感染状況によっては、一部オンラインでの開催も検討する。

商工会の担当者は「市内で起業していただける方に、ぜひ参加していただきたい」と話している。

受講料五千円。定員二十名。

人。電話や商工会のホームページから申し込み。伊賀市商工会10595(45)2210(新居真由香)

2021. 8. 26

伊賀の国大山田温泉さるびの

島ヶ原温泉やぶっちゃ

管理法人に譲渡の方針

伊賀市は市有の温泉一施設を民間に譲渡する方針を打ち出した。それを指定管理している地元法人に二分の一三年四月までとに受け渡す。市はこれまで、赤字分を事業上肩代わりしてきた焼畑があり、譲渡方針が報告された八月十七日の市議会全員協議会では、土地と建物を無償とするに賛同の声が上がった。

十年間の温泉事業の継続、入湯税の減額、修繕のための補助金支出といった条件が付いており、十二月議会にも関連議案を提出する。

地域の福祉増進と交流の核として、さるびのは一九

ており、過去に計八千万円以上の損失を出した年もあった。市は指定管理料を繰額するなどして対応しており、昨年度も計五千二十一万円を支出。譲渡に伴い、こうした負担は無くなる。

譲渡するのは、同市上阿波の「伊賀の国大山田温泉さるびの」と同市島ヶ原の「島ヶ原温泉やぶうちめていた。譲渡に向けては

度は三十四万三千人が利用。やぶつちやは二〇五年二月の開業からの約一年間で十九万四千人が訪れ

かかる費用として、合併前
から計二十八億二千九百三
十万円を起償し、償還予定
額は三千二百九万円残る。

市議会全協で市報告 無償に疑問の声も

④市が民間譲渡する方向で検討している「伊賀の国大山田温泉さるびの」
⑤伊賀市上河原で
⑥島ヶ原温泉やぶつちや
⑦伊賀市島ヶ原で



画によると、今後はキャン
プ場などのアウトドア事業
や廃止中のエリアの利活用
に力を入れるという。

る収入は見込めない。市議
会全員協議会では、一都市
議が「これまで市全体で借
金を返してきた。無償譲渡
を市民にとう説明するのは
か」と指摘。市の担当者は
取材に「理解いたただけ
よう精査したい」と話し
た。

二、地の特種を合算せしむるに
産鑑定評価は、さるびので
一億一千五百六十三万円、
やぶつちやで二億一千二百
六十二万円だが、売却によ

かかる費用として、合併前
から計二十八億三千九百三
十万円を起償し、償還予定
額は三千二百九万円残る。

り、昨年度も計五千二
万円を支出。譲渡に伴
ひ、こうした負担は無
くなる。

いすれも営業赤字が続いており、過去に計八千万円以上の損失を出した年もあった。市は指定管理料を操

た。以降、利用者は減少傾向で、コロナ橋だった昨年度は八万二千人、十万一千人まで落ち込んだ。

行政運営でのデジタル化推進

伊賀市 2社と連携協定

デジタル技術による社会の推進などに
「DX」の推進などに
伊賀市は二日、一企
と連携協定を結んだ。高
ザーを公募し、九月下旬に

新型コロナウイルス感染
防止のため、締結式はオン
ライン形式で開催する。市
役所で署名した岡本赤市
長は、持続可能な行政運営
には、ウハウウを有する民間
の皆さんとの連携が不可欠
とあいさつ。ナサザ
ワックスの大林尚明代表取
締役は、知識、知見、経験
を集めて成功させたいと
述べた。（河野順氣）

（河野晴氣）



2企業と連携協定を結んだ
岡本市長⑤―伊賀市役所で

「アナザーワークス」。

アナザーワークスは複業
したい人と企業をつないで
おり、二万五千人の登録者

企業を紹介する大阪府の「官民連携事業研究所」と、複業マッチングプラットフォームを手掛ける東京

事に取り組む「複業」人材の登用につなげ、サービスの向上や課題解決を図る。

デジタル技術による社会
産業「DX」の推進などに
向け、伊賀市は二日、二企
業と連携協定を結んだ。高

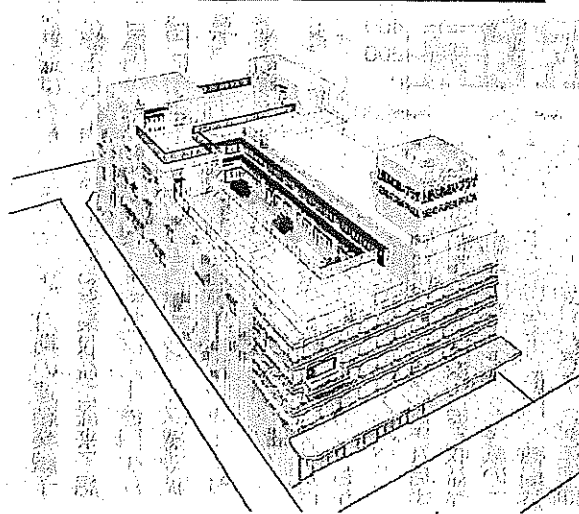
行政運営でのデザイン

伊賀市 2



2021.9.3

伊賀・旧上野ふれあいプラザ



1階に商業施設、2階に診療所：

1階に商業施設を入れ、2023年4月の開業を目指す。建物のイメージ図は伊賀市提供

れ、二〇二三年四月の開業を目指す。

事業者は東海地方で介護福祉施設を運営する「ひまわりケアサービス」（愛知県愛西市）。一九七七年築の鉄骨五階建てを改修し、三・四階には住宅型の有料老人ホーム（四十四床）と障害者の就労支援施設、五階には屋上広場を設ける。

八月から九月にかけて提案方式の入札で事業者を募ったところ、同社一社が参加表明した。希望価格は七百二十二万円で、市は今年中にも契約を締結する。ふれあいプラザでは、一

売却先決まる 改修後、23年4月開業へ

伊賀市は空き家状態が続いている「旧上野ふれあいプラザ」（上野中町）の建物と土地を売却する事業者

を決めた。一階に食料品を扱う商業施設、二階に診療

所や調剤薬局、フードコー

ト、土産物売り場などを入

階に出店していたスーパー「ヤオヒコ上野店」が一九九九年九月に閉店、二〇〇三年三月に出し、入居者がいなくなっていた。住民向け説明会は

今月末を予定し、来年七月にも工事に着手する。
(河野晴気)

2021. 11. 9

中日

伊賀市議選巡る訴訟

[illegible]

高裁も得票同数と判断

本件選挙の有効票は633票であるところ、本来、有効票数
か)の得票とされなければならぬが、無効票として集計された投票をすべて有効とする結果、
2)伊賀市市長議員選挙では、これまで出たことのない、但た名前候補者のうち何人かの
きない票については、

▲福村氏が伊賀市選管に提出した異議申
出書のコピー(提供)

一方、福村氏が4月5日に提出した市選管への異議申出書によると、無効の633票には福村氏の得票とされなければならない票が無効になっている可能性が高いと指摘。「無効票として集計された投票をすべて点検する必要がある」と訴えている。

3月28日に投票票があつた伊賀市議選(定数22)に立候補し、3票差の次点で落選した福村教親氏(59)と最下位で当選した北山太加親氏(65)の得票を同数とし、北山氏の当選を無効とした眞選管の裁決に両氏が取り消しを求めた裁判で、名古屋高裁(松村徹裁判長)は請求を棄却し、得票総数は眞選管が認定した1096票に2票ずつ加えた1098票とした。この結果、改めて同数となるため、北山氏の当選を無効とした眞選管の採決は「結論において相当」と判断した。

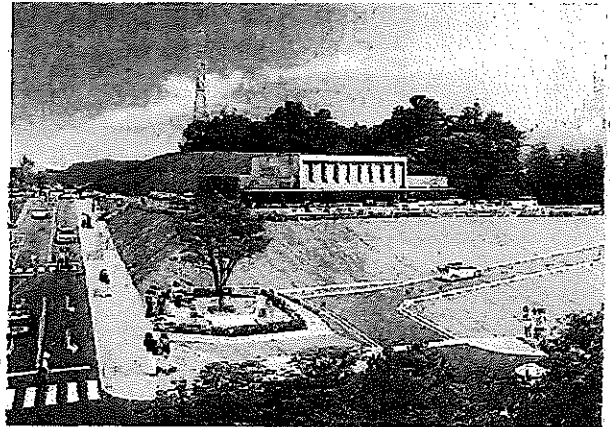
判決の言い渡しは11月25日。上告の期限は12月9日。市選管によると判決が確定した場合、今月6日時点で、選挙会(14日)に市役所本庁舎(同市四十九町)で開かれる予定で、くじで当選人を決める。

争点係選挙管が審査した15票に対する判断だったが、同高裁は眞選挙管採て北山氏の有効票14票のうち、無効とした「北山さんと」と記載の2票を有効に、福村氏に係る無効票のなかで有効となった「福岡のりちか」と記載された1票に加え、市選挙の誤認で審査対象から漏れて後から追加された同じ記載の2票も有効と認めた。

ら同59分までに有効となつた14票の特定と無効になつた633票の中に楊村氏の有効票であることが疑われる票がないかの確認で実施したと説明。楊村氏に關係する無効票分は「票數を確認すると記載していなかった」とし、原因は担当職員による「認識の錯誤」で事務の手引き「マニュアル」に基づき手順など周知徹底不足が問題の原因だと理由づけ

伊賀市応急診療所 来年移転

岡波総合病院の新病棟近くに



応急診療所が移転する建物のイメージ図＝伊賀市提供

伊賀市は、市内の夜間休日的一次救急を担う市応急診療所（上野桑町）を、成和中学校跡地（上之庄）で建設中の岡波総合病院の新病棟近くに移転する方針を市議会全員協議会で示した。同病院の移転開業に合わせ、二〇二三年一月ごろを予定する。

市医療福祉政策課によると、診療所の移転先は、院外薬局なども入る鉄骨一部二階建ての一階。現在の一・七倍にあたる約二百二十平方メートルのスペースを借り、患者用トイレや職員用の休憩

室を増やす。感染症対策として、外部の受付窓口や裏出入り口を設け、処置室の一つは換気を強化した陰圧状態を可能にした。

診療所は〇六年七月に開設し、一般診療と小児科に各一人の医師を置いていた。小児の二次救急にあたる同病院とは特に連携が必要で、現在も隣接している。移転に伴う診療科目や時間の変更はない。二〇年度の患者数は計二千五十三人。コロナ禍の受診控えの影響で、前年度から四千五百八十四人減った。（河野晴気）

2022.1.22

中田

追う

これらの自治体では、選挙費用の明確な削減効果が得られた。東かがわ市では〇七年に別々に行われた市

3月定例会最終日に自主解散案を提出することを確認した国会運営委員会＝名張市役所で

首長選と議員選が同じ年の別日程で実施される背景の一つには、市町村合併の際に、旧市町村の議員が引き続き在任できる特例がある。名張市は1町3村が合併して市制施行した1954年、旧町村議の任期を5カ月間延長。4月の市長選と8月の市議選が分けて実施される状態が60年以上続いてきた。

東かがわ市選挙管理委員会は「一件費や投票所入場券の郵送費など、経費で減った額が石井町の担当者も「職員の残業が減り、業務負担の軽減にもつながった」と指摘した。

一方、投票率の向上は効果が見られなかった。同日選に

る前の一五年と同日遡の一
九年を比べると、錦町では
町選達が73・82%から77・
3%に上昇。町長選も70・
44%から77・3%に上がつ
た。だが、石井町選達は60
・85%から59・51%に微
減。東かがわ市選達は〇七
年の74・75%から一二年は
71・68%に低下した。

美浦村は、一五年の村議選が無投票だった。総務課議の担当者「二五年の初めての無投票が、同日選の議論を始めた契機。一九九年は立候補者が増え無投票とならず、選挙への関心は高まったのではないか」と分析する。

名張市では前回市長選で二千二百万円、市議選で三千三百万円の費用がかかった。同日選で千四百万円程度の経費削減を見込む。一七年に自主解散を含む議会改革を提案した福田博行市議は「市は財政難で経費削減を求める声も大きい。民意をよやくと実現できる」と期待を込める。

ただ、投票率は市議選が一〇年の60・65%から一八年には51・97%に、市長選も一〇年の58・31%が一八年は51・69%に低下している。市議会が実際に解散するのは三月とみられ、市長選と同日になった場合、投票開票日までは、一月間程度となる。候補者らの論戦を巡る有権者の関心の行方が注目される。

伊賀のDX 推進へ道しるべ



市登用アドバイザー3人が成果報告

デジタル技術による社会変革「DX」の推進などに関し、伊賀市が登用した三人のアドバイザーの成果報告会が二十八日、オンラインで開かれた。三人はいずれも市民の目線で情報収集や広報に取り組み重要性を訴えた。三人の任期満了に伴い、市役所から参加した岡本栄市長は特製の伊賀焼土鍋を贈呈した。(河野晴気)



特製の土鍋を手にする岡本市長(左)と登用された専門人材ら＝伊賀市役所で

市民日線の情報収集や広報が重要

三人はコンサルティング会社を運営する河上泰之さん(左)、奈良市の商店街活性化を主導した片桐新之介さん(中)、長く広告企画に携わってきた中野浩之さん(右)で、それぞれDX戦略、DXプロモーション、広報アドバイザーを昨年十月から務めた。

河上さんは市職員への研修会で「ユーザー視点から解決策を探る手法を示し」「本気を取り組んでいただいている」と高く評価した。片桐さんは市民意識のデータ収集や出前講座の資料作成に関わり「市民との対話を通じてさらに良くなれば」と期待した。中野さんは分かりやすく効果的な「広報いが」の実現に努め、昨年十二月号・今年三月号では記事のカテゴリー分類を明確に、字体や行間を変更。相違書には生活者目線の判断力を求め「今後も課の存在意義を伝えていきたい」と話した。

登用は、複数の仕事を掛け持つ「複業」人材を紹介する「All the works (アロワークス)」との連携協定に基づく。岡本市長は「民間の知識経験を生かしたアドバイザーをもち、DX推進の具体的な道しるべができた」と感謝した。

2022.3.1